

# 第2回 市民まちづくりワークショップ 実施結果 【7月23日 実施】

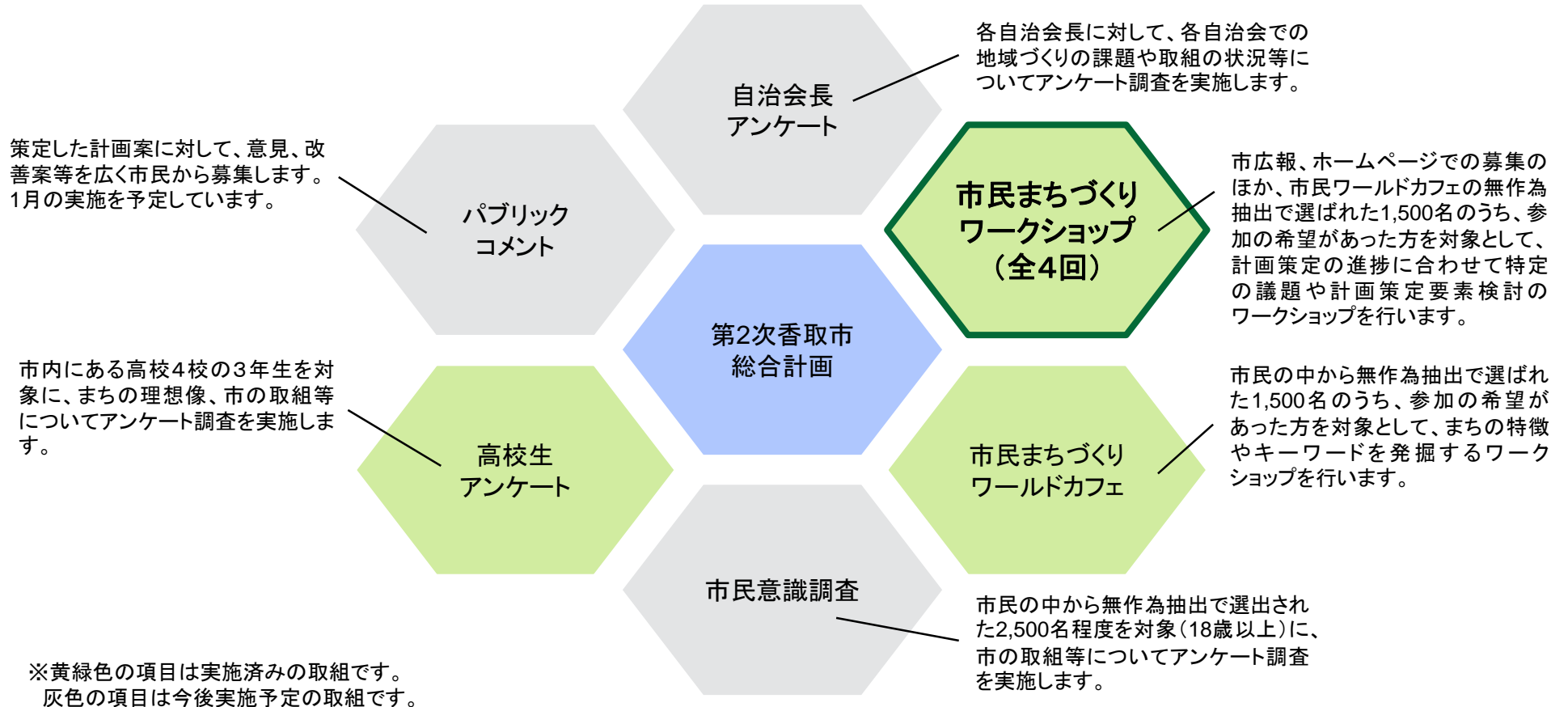
# 目次

市民まちづくりワークショップの位置づけと役割	2
第2回 市民まちづくりワークショップでの検討結果	6
第2回 市民まちづくりワークショップ アンケート結果	19
参考:第2回 市民まちづくりワークショップの様子	26

# 市民まちづくりワークショップ の位置づけと役割

# 計画策定にあたっての市民意見の収集方法

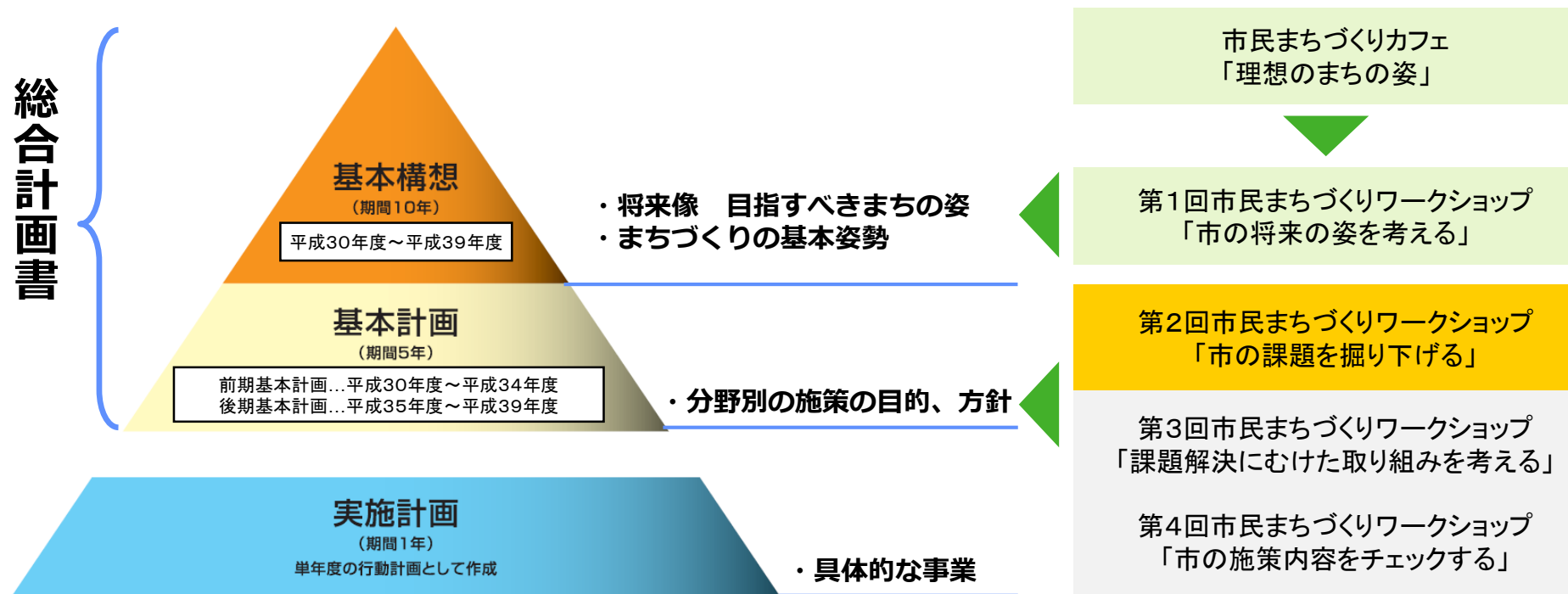
計画の策定にあたり、複数の手段と多様な視点から市民意見を収集しています。



総合計画は市の取組だけで実現できるものではなく、市民、事業者など、香取市に関係するすべての人々が認識を共有し、各々が計画に向けて取組みを進めることで実現されます。そのため総合計画は、多くの人が理解しやすく、共感できる内容でなければなりません。様々な方法による市民参加は、その結果を適切に総合計画へ反映することで、総合計画を市民にとって身近で親近感のわくものへと近づけます。

# ワークショップ意見の計画への反映

全4回のワークショップ毎に、検討内容が異なり、また、検討結果の反映先、反映方法が異なります。

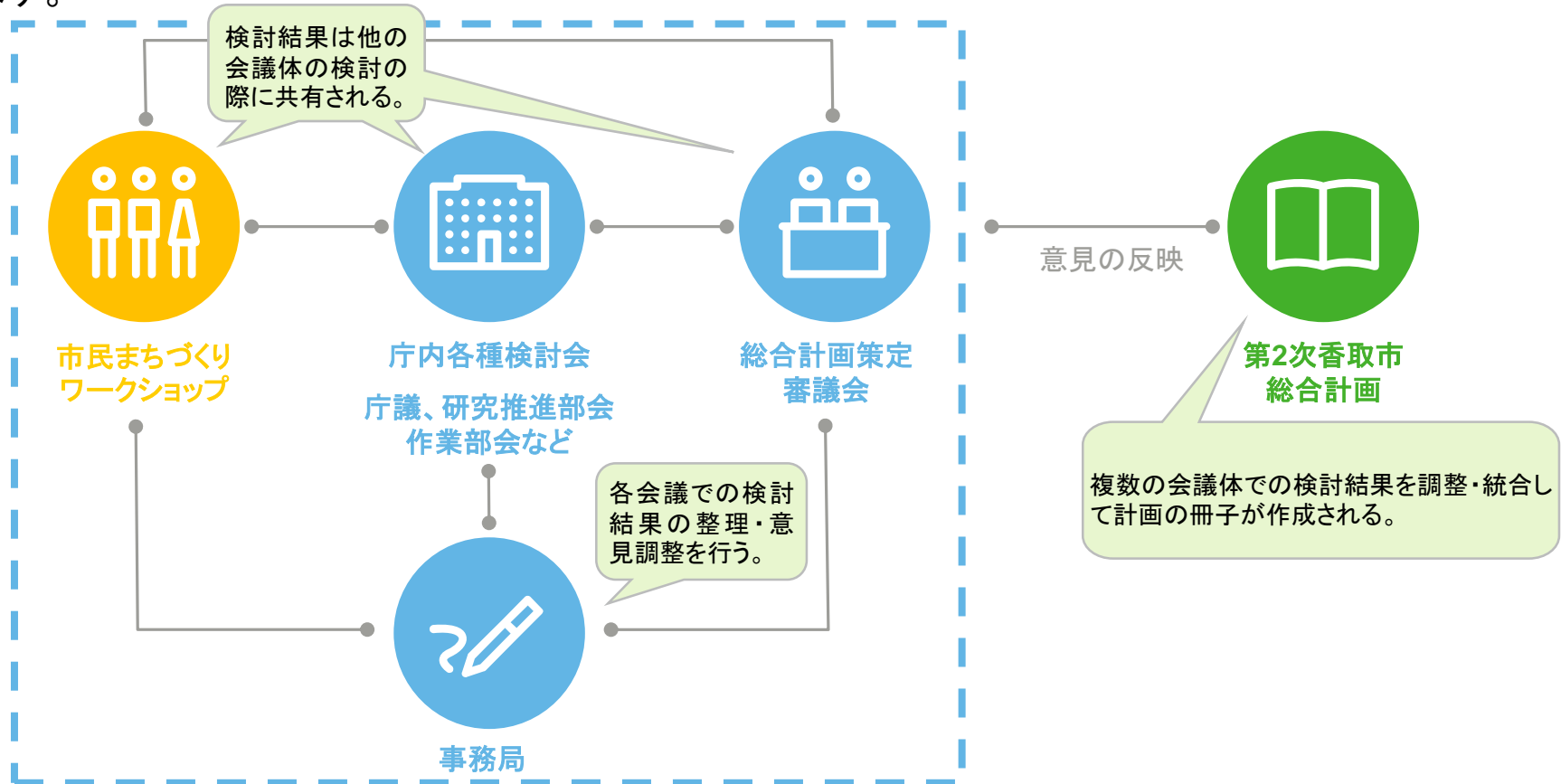


※上記のイラストは検討中の計画イメージであり、検討の過程で変更がある可能性があります。

計画策定の進捗に合わせて、ワークショップでの議題を設定します。それぞれの回の検討結果は、事務局で整理、調整し、参考意見として計画の各項目の策定に用いられます。計画策定の際に市民からの意見や視点を織り交ぜることによって、行政からの視点にとどまらない幅広い視点で計画を作成します。

# 検討結果と他検討会との関係

ワークショップでの検討結果は、計画策定に関係する他の検討会に持ち越され、各検討会の議論の軸となります。



ワークショップでの検討結果は、事務局を経由して、庁議や研究推進部会といった行政での検討会や有識者らで構成される総合計画策定審議会の場に共有されます。総合計画の策定の過程では、同一の項目について複数の会議体のそれぞれ異なった視点を持って議論をします。複数の会議体での議論を経ることによって、単一の視点では見えてこなかった切り口、キーワード、表現方法の検討が可能となります。

## 第2回 市民まちづくりワークショップ での検討結果

## 第2回 市民まちづくりワークショップ

### 開催概要

- 市民まちづくりワークショップ実施目的

市民主体の議論を通じて総合計画策定にかかる意見を収集する。また、計画策定プロセスへの市民参加によって、計画に対する説明責任を果たし、市民の地域課題に対する当事者意識の啓発につなげる。総合計画作成において行政の立場のみならず複数の立場から計画内容を検討することによって、より広範な視点で計画を作成する。

- 開催期日、開催場所

平成29年7月23日(日) 9:30~12:00 香取市役所 5F会議室

- 参加対象

16歳以上の市民の方

- 参加者(アンケート回答者)

27名 【年代別内訳】10代:9人、20代:1人、30代:0人、40代:5人、50代:0人、60代:5人、70代以上:6人、無回答:1人

【男女比】 男性:16人 女性:6人 無回答5人

- ワークショップを通じての目標成果物

第3回市民まちづくりワークショップのための検討材料(分野ごとの課題の頭出し、課題に対する解決方法のアイデア)

- 成果物の総合計画での反映予定箇所

第3回市民まちづくりワークショップの結果を踏まえ、「施策の方向性」、「事業の方向性」等へ反映予定



## 第2回ワークショップの位置づけ

第2回と第3回の2回をかけて、「課題の発見と解決」をテーマにワークショップを実施します。

実施日	検討回	検討内容	成果物(活用方法)
5/13	第1回市民まちづくりワークショップ 「市の将来の姿を考える」	市の将来の姿を考える	まちの姿を表すフレーズ
7/23	第2回市民まちづくりワークショップ 「市の課題を掘り下げる」	市の課題を掘り下げる	分野別の課題 課題に対する取組 (施策の方向性、事業の方向性、協働のかたち、など)
8/26	第3回市民まちづくりワークショップ 「課題解決にむけた取り組みを考える」	課題解決に向けた 取組を考える	
10月中旬	第4回市民まちづくりワークショップ 「市の施策内容をチェックする」	市の施策内容を 確認する	

**香取市が抱える課題の発見と解決**  
がテーマ

第2回市民まちづくりワークショップでは、「課題の発見」に焦点を絞り、参加者が感じる市の課題の抽出を行いました。現行計画、市政の課題に対して、高校生アンケート、市民意識調査などの定量的な調査による課題抽出を行い、ワークショップでは参加者個人の体験から定性的な側面からの課題抽出を行います。第3回まちづくりワークショップでは、第2回まちづくりワークショップで抽出した課題を基に、課題解決に向けてどういったアクションプランが必要か検討します。第2回、第3回ワークショップで検討した課題と取組は、新計画の事業の方向性、また、市民と行政の協働のかたちを検討する際の参考意見とします。

## 第2回市民まちづくりワークショップの流れと検討方法

第1ラウンドで課題出しを行い、第2ラウンドで取組、解決方法を検討しました。

	第1ラウンド	第2ラウンド
議題	まちづくり分野ごとの課題を考える	取り組みたい課題の解決方法を考える
時間	約45分	約40分
作業内容	参加者が検討したい分野を、後期基本計画の6分野の中から3つ選択し、それぞれの分野ごとの課題を思いつく限り、自由に挙げます。	第1ラウンドで選んだ分野ごとに検討した課題を整理し、課題に対する解決策として何をするか取組や対策方法検討します。また、第3回ワークショップでより深堀したい課題や取組について議論します。
成果物	①検討したい取組の3つ分野 ②分野ごとの課題	①分野ごとの課題に対する取組事項、対策方法  ※第3回ワークショップで深堀したい課題・取組については議論のみ。第3回参加予定の参加者には第3回までに、課題について再考するようにアナウンス。

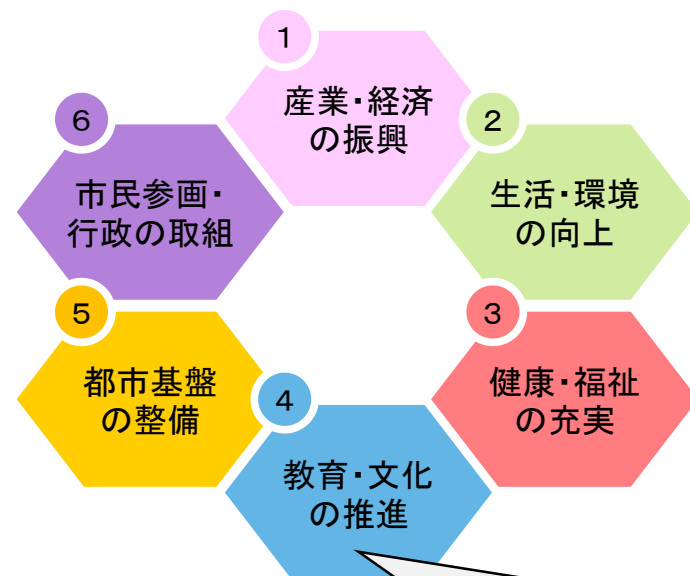
検討に入る前に、第1回市民まちづくりワークショップの結果、結果の活用の状況について説明しました。意識してもらいたい視点、課題の考え方について説明した後に検討に移りました。

# 検討の結果①(第1ラウンド:検討にあたって選択した分野)

各班の構成、検討にあたって選択した分野は以下のとおりです。

	A班	B班
構成	年齢60代後半～70代 (男 4)	年齢60代～70代 (男 5)
選択分野	1. 産業・経済の振興 3. 健康・福祉の充実 4. 教育・文化の推進	1. 産業・経済の振興 4. 教育・文化の推進 5. 都市基盤の整備
	C班	D班
構成	年齢10代(高校生) (女 5)	年齢10代(高校生) (男 4)
選択分野	1. 産業・経済の振興 4. 教育・文化の推進 5. 都市基盤の整備	1. 産業・経済の振興 2. 生活・環境の向上 4. 教育・文化の推進
	E班	F班
構成	年齢20代～40代 (男 5・女 1)	年齢60代～80代 (男 4)
選択分野	3. 健康・福祉の充実 5. 都市基盤の整備 6. 市民参画・行政の取組	1. 産業・経済の振興 5. 都市基盤の整備 6. 市民参画・行政の取組

後期基本計画・施策体系の6分野



現行の後期基本計画の施策体系の6分野の中から、参加者が検討したい分野を3つ選択してもらいました。それぞれの分野がどのような内容なのか次項掲載資料を配布し、説明しました。

分野番号	選択班数	分野番号	選択班数
1	5	4	4
2	1	5	4
3	2	6	2

# 検討の結果①(第1ラウンド:検討にあたって選択した分野)

## 参考:検討時の参考資料

【第2回 市民まちづくりワークショップ 参考資料 分野一覧表】			
分野	小分野	取組・生活の場面	分野
産業・経済の振興 ①	農林畜産物	新規農家者や後継者の育成	教育・文化 ④
		消費者やスーパーなどの生鮮食品店へ香取市産の農畜産物をPRする活動	
		畜産の経営安定化や安全対策の推進	
		放射性物質に対する対策や環境にやさしい農業への取り組み	
		不法な森林伐採や森林開発を防止する活動や公共施設への香取市産の木材の活用	
		都市部の人々が農村を体験できるような森林・里山を活用した体験づくり	
	商業	佐原、小見川、山田、栗源の各地区にある商店街のにぎわいの創出	
		商店街の空き店舗への出店の支援	
		中小企業の経営者への経営相談や指導	
		佐原商工会議所や香取市商工会の活動の支援	
	工業・企業誘致	大型の商業施設の香取市への誘致	
		企業を香取市へ誘致するための土地の確保	
		企業誘致を行うための情報収集	
		企業誘致担当職員を設けるなど体制の強化	
	観光	起業や新分野へ進出する事業者への相談支援体制の充実	
		四季に合わせた観光イベントの開催や交通機関の充実、老朽化の進んでいる観光施設の再整備	
		市民ガイドなどによる観光客への心のこもった対応	
		水上スポーツや農業の体験など体験を行う形の観光プランの推進	
雇用・労働	銚子や成田などの周辺の都市との観光の連携や外国人観光客の誘致活動		
	高齢者を含めた市民の就職支援		
自然環境	ハローワークやジョブカフェを通じた情報提供の充実		
	環境対策の見直し		
	ごみゼロ運動や河川清掃などの環境ボランティアの活動促進		
	太陽光発電の整備導入の支援充実		
廃棄物処理・省資源	ごみの減量化やリサイクル活動の推進		
	ごみ収集体制の効率化やリサイクル施設の整備		
	ごみの不法投棄やごみステーションでのマナー向上		
公園・緑地	緑みれあい公園や小見川城山公園を中心とした市内の公園の整備		

## 検討の結果②(第2ラウンド:分野ごとの主な課題と取組)

第2回WSで提案された各分野ごとの主な課題と取組・解決方法は、第3回WSで引き続き議論します。

分野	主な課題	主な取組・解決方法
産業・経済の振興	空き店舗、観光客への対応(宿泊場所、施設の充実)、交通の不便、雇用・就職先の少なさ、商店街の活気不足、農業の後継者不足	農業の活性化・情報発信、企業誘致、取組の広域化、観光客誘致のための情報発信・コンテンツ開発、宿泊施設の整備、商業の活性化、マーケティングの導入
生活・環境の向上	公園が少ない、ごみのポイ捨て・不法投棄による景観の悪化	注意看板の敷設、公園等の整備、ごみひろい
健康・福祉の充実	医療施設の整備(産婦人科がない)、医師不足、高齢者の増加による問題(買い物難民)、障害者雇用・支援	広域医療ネットワークの構築、開業医の独立支援・優遇、見守りネットワークの充実
教育・文化の推進	学校の老朽化、学校施設の整備、スポーツ施設の不足、自治会等地域組織の縮小・機能不全、文化施設の整備、祭り文化の継承	生徒を巻き込んだ事業改善の推進、校舎の整備、市民有志による部活動支援、リーダー人材の育成、文化体験の推進
都市基盤の整備	生活道路等の整備、土地の有効活用、市内交通網の整備、水道管の整備、空き家の活用、観光客・地域住民の交通手段確保	空地利用の推進・活用のための制度導入、利用計画の作成、交通網の接続の改善、民間利用者の募集
市民参画・行政の取組	行政サービスへの理解、窓口対応の改善・効率化、行政に対する市民の関心度の低さ、行政サービスがわかりにくい、情報発信、事業性のある取組の導入	SNSや公共スペースを利用した情報発信・市民参加の推進、行政サービスのコンセプト確率・体系化、行政サービスへの民間参加

各班の検討結果から、共通してあげられている課題を要約抽出し、課題に対しての解決方法を要約の上、記載しています。

## 検討の結果②（第2ラウンド:各班での検討のプロセス:A班）

	第1ラウンド	第2ラウンド
議題	まちづくり分野ごとの課題を考える	取り組みたい課題の解決方法を考える
検討結果	分野・課題の抽出	どうするか(解決方法、取組)
	分野:1. 産業・経済の振興 課題: 観光名所が少ない、食事場所不足、宿泊施設不足 駐車場不足、三越カメラビルの処分解体、河川敷をマラソンコースに整備して人を呼ぼう、河川敷の利用(観として)、特産品がない、農業の人出不足、交通の便が悪い	小野川の清掃、住民意識の育成、ポートピアの建設
	分野:3. 健康・福祉の充実 課題: 高齢者がすみにくい、セレモニーホールが多い、大きな病院が少ない、産婦人科が少ない、引きこもりの実態がわからない、一人暮らし高齢者の実態がわからない、障害者に対するボランティア不足、買い物難民が増加、若者の流出、	医療ネットワークの作成、ラジオ体操の町づくり、セレモニー直営の病院・医者づくり、見守りネットワークの充実、サロンの開設、若者をひきとめる政策
	分野:4. 教育・文化の推進 課題: 地元の文化が生かせてない、文化の専門家が少ない、住民意識をまとめる方針づくり(町カフェ)、リーダー育成・教育システムが不十分、自治会連合会の機能が果たせてない、組織の長になる人がいない、公民館活動の一層の充実、子供の施設不足、文化施設の充実、陸上競技場がない	文化庁との連携、地元の文化を掘り起こす、街並みづくりとの連携を深める、この”町づくりワークショップ”の活用、千葉県生涯大学の活用、民生委員などの推薦入学、日曜日の学校開放、市民有志による部活動支援、大谷津案の再検討

ポイント・特徴: 観光、高齢者、文化の活用を軸に検討を進め、住民レベルで行える取組を中心に解決方法を検討しています。

## 検討の結果②(第2ラウンド:各班での検討のプロセス:B班)

	第1ラウンド	第2ラウンド
議題	まちづくり分野ごとの課題を考える	取り組みたい課題の解決方法を考える
検討結果	分野・課題の抽出	どうするか(解決方法、取組)
	分野:1. 産業・経済の振興 課題: 観光、駐車場整備、農業集約、地産地消、名産	ユーザーマーケティング、観光宣伝CM、神宮八十八寺、宿泊施設(観光客)、観光の体験農業、交通網の整備、市民からアイデア募集、都内にアンテナショップ、リピーターを増やす
	分野:4. 教育・文化の推進 課題: 空き屋(香取市外の住人が所有)、佐原の大祭、祭りの語り部、町屋の文化、佐原の河岸、文化の発信、ユネスコ世界遺産になったので対外宣伝(国内も含め)佐原バヤシの練習場等見せる、遺産の発掘復活、市内歴史、教育研修	佐原の街並み、路地の魅力、囃子連の練習場、専門学校(芸、山車他)、佐原・香取市歴史、学校教育活用する、山倉、木内、山倉、香取市歴史
分野:5. 都市基盤の整備 課題: 356号佐原バイパス整備、空港までのアクセス、JR特急、千葉⇄香取バス、高速IC付近、高齢者の利用するサロン、水道管の老朽管の敷設・入替え、Pの空き情報、休耕田の活用	バスターミナル、無人運転バス、ケーブルテレビ、FM香取作り	

ポイント・特徴: 産業、経済の振興の取組で現在あるデータを活用したマーケティングの取組について検討しています。また、歴史文化をつないでいく取組の一方で、無人運転バスなどAI・自動化など新しい技術を導入する取組を解決方法として検討しています。

## 検討の結果②(第2ラウンド:各班での検討のプロセス:C班)

	第1ラウンド	第2ラウンド
議題	まちづくり分野ごとの課題を考える	取り組みたい課題の解決方法を考える
検討結果	分野・課題の抽出	どうするか(解決方法、取組)
	分野:1. 産業・経済の振興 課題:駅前再開発、閑散としている、商店街の店舗不足、外部から香取市に来る理由がない、シャッター街が多い、空き店が多い、若者向けが少ない、近代化したいのか・歴史を大事にしたいのか中途半端、代表的なお店が少ない、多面的に農業を捉えていない、農業の後継者不足、意図不明の森林伐採、観光にもっと力を入れる、観光客への対応、ごく一部の観光業、ガイドが少ないすぎる、働き手が少ない、雇用が公務員以外ない(と思う)、就職先が少ない、イベントの呼びかけが弱い=イベントが少ないように思われる、大型商業施設を誘致するための土地	建物を一定期間貸してテナントが入るまでやってみる、若い衆が参加できる講習会、若い人向けの田畑・森林を市がつくる、広報に載せてもらう市民のみなで「観光」を意識、佐原以外の町もイベントを頑張る、みんな「笑顔」で楽しく外人の人とも仲良く接する、商業を栄えさせて就職先を増やす、香取市以外の市で人がたくさん来るところで誘致、佐原以外の地域の呼びかけを強くする
	分野:4. 教育・文化の推進 課題:学校が老朽化している、遊具が全部廃止、学校統合時、使わなくなった校舎はどうするのか、学校の先生が保護者に負ける、幼稚園少ない、小学生の交通のルールが守られていない、給食がおいしくない、子供たちへの体験が皆無、ありきたりな体験学習、体験学習が少ない、芸座の担い手不足、魅力を感じられる歴史がない、伝わっていない、みんな佐原=祭りだと思っている、街並みが古びてきた、文化が子供たちに全く伝承できていない祭りの担い手不足、スポーツ大会が少ない、スポーツ大会が少ない施設が少ない、年齢を越えた大会があるといい、美術館がない、図書館をもっと大きく	市の教育に対する予算を増やす、改修工事(学校など)、フードアドバイザーを雇う、子供が給食をリクエスト、廃校舎を体験施設に使用する、昔×今を織り交ぜた体験、文化体験、地域の行事に若い人が参加できる機会をつくる(雰囲気など)、高校などが主催のスポーツ大会実施、予算増やして工事、イベント開催して実用性を感じさせる
分野:5. 都市基盤の整備 課題:バスが少ない、suica使えない、無人駅が多い、電車が少ない、交通の便が悪い、災害からの復興、冠水がおきる、道路のゆがみ、道路の整備、古い家が多い、駐車場不足、電灯が少ない、空き屋が多い	予算を増やして便数を増やす、時間を電車と合わせてほしい、市民が運動を起こして予算を増やしてもらい、整備してもらい、古い建物を駐車場にする、駐車場をつくる、ニュータウンをつかって住みやすい環境をつくる、ごみ処理場をつくる、商業施設をつくる	

ポイント・特徴:高校生ならではの発想で多くの課題をストレートに表現しています。実際に教育を受けているからこそその意見も見受けられます。また、若者の定着を推進する提案やまちづくりの取組に対して若者や高校生が参加できる機会を増やすといった提案が特徴的です。



## 検討の結果②(第2ラウンド:各班での検討のプロセス:D班)

	第1ラウンド	第2ラウンド
議題	まちづくり分野ごとの課題を考える	取り組みたい課題の解決方法を考える
検討結果	分野・課題の抽出	どうするか(解決方法、取組)
	分野:1. 産業・経済の振興 課題:農業のPR、農業の後継者不足、もやしの価格が低い、働く場所が少ない、企業誘致の宣伝、香取市の産業に何があるのかが分からない、商店街への出店支援、商店街の復活、就職場所の増加、商店街に活気がない、全国からみて「佐原の大祭」の認知度が低い、祭りの周知、佐原大祭の広告、観光施設	PR動画を作成、YouTubeなどの動画サイトに投稿、一定期間の農業体験をしてもらい終了したら説明会して誘致する、補助金制度導入、市から土地を提供する、広告をもっと広地域の公共施設に、高校生に周知(佐原高校、佐原日楊高校、萌陽高校)
	分野:2. 生活・環境の向上 課題:公園が廃れている(少子化による利用者減少)、遊び場が太陽光パネルになった、公園が少ない、雑草が多汚く感じる、生徒・児童の交通マナーが悪い、ゴミ箱が公園等に少ない、水質が悪い(小野川)、小野川のポイ捨てがひどい、道路付近のゴミのポイ捨て、国道でなくなるとゴミが増える、街の景観が悪くなりイメージダウン、猫の放し飼いによって近所に出入りしている	公園に整備を増やす、市民から資金を集め、公園をきれいにする、古民家を使用して遊び場を作成(SMPで計画中)、歩道増加(道幅を広く)、ゴミ箱の設置(小野川、神宮 など)、ゴミ拾い活動の増加、「捨てるな」看板の設備、飼い猫・犬の把握、明るい所と暗い所を調査して暗い所に街灯、青色光で防犯対策
	分野:4. 教育・文化の推進 課題:佐原中の制服の変更(格好悪い)、冷暖房設備の充実、校舎によって質の差がある(佐中)、校舎が汚い、生徒の怪我につながる恐れがある、学習意欲低下、他校との交流イベント増加、スポーツを通じて地域交流、若者活気づく町へ、地元へ愛着のない中学生が覆う、佐原囃子への関心不足、認知度低下、祭りが伝承されない地域の特徴がなくなる	学校施設を大切に使用する、校舎新設、学生が計画をして地域単位で実施する、香取市の伝統文化や文化財などに触れる学習を施す、イベントを増やす、広告を使用して周知

ポイント・特徴:高校生が普段の生活の中で目にする光景から課題を抽出しています。学校施設を大切に使用するなど、学校生活の中でも取り組める課題解決方法が提案されました。

## 検討の結果②(第2ラウンド:各班での検討のプロセス:E班)

	第1ラウンド	第2ラウンド
議題	まちづくり分野ごとの課題を考える	取り組みたい課題の解決方法を考える
検討結果	分野・課題の抽出	どうするか(解決方法、取組)
	分野:3. 健康・福祉の充実 課題:2025年への対応、高齢者増加、地域福祉一人暮らしの高齢者、高齢者世帯、障害者の働く場、障害者福祉就職支援、産婦人科がない、県立病院の保護救済、医療施設の整備、医師不足、子育て保育所、保育士の給料が安い	高齢者のサポートに障害者を登用する、開業医の独立支援
	分野:5. 都市基盤の整備 課題:観光都市化への早急な準備(観光区・居住区・農区・輸送物)、観光地区の駐車場不足、歩いて買い物できるまちづくり、市有地への企業誘致、遊休公共不動産の有効利用、土地利用、未利用地の有効活用、廃校の利用、市の遊休の活用物件、空き屋の活用、シャッター商店街、危険な建物問題、交通弱者のための新たな公共交通の提供、観光客の交通不足、道路脇の雑草、ゴミ、歩道の確保、生活インフラの維持、老配管の更新	民間利用者の募集(市の財産を民間に活用させて利益につなげる)、本当に必要な人に向けた公共交通の再デザイン、ボランティアの活用
分野:6. 市民参画・行政の取組 課題:問題の共有、クレームの言いなりにならない、市民の無関心、無責任な責任追及、窓口業務の効率化、民営化、縦割り行政の解消、行政サービスをわかりやすく、行政サービスの簡素化、SNS等を活用した行政の情報収集、事業性のある行政の取り組み、公民の連携、地域間交流(近隣自治体と連携してのツーリズムづくり)、地域間交流の活性、空き屋、廃屋の行政執行	SNSや公共スペースでの問題提起&市民参画、多様な形での情報発信 民間委託	

ポイント・特徴:障害者の雇用の場の確保、行政事業の民間委託・外部化など市民と行政の協働の取組を中心に課題解決方法が検討されています。

## 検討の結果②(第2ラウンド:各班での検討のプロセス:F班)

	第1ラウンド	第2ラウンド
議題	まちづくり分野ごとの課題を考える	取り組みたい課題の解決方法を考える
検討結果	分野・課題の抽出	どうするか(解決方法、取組)
	分野:1. 産業・経済の振興 課題: 安心安全産業の発展(改良)、空き店舗、民泊の活用対策、佐原への企業誘致、観光と産業の二極化開発、人口が少ない、起業家育成を検討する、産業の六次産業化、車と歩道が区別されていない、商店や売り物に魅力がない、	各地域ごとの経済性を高める、6次産業化(農業)の推進、香取だけでものを売る発想から脱皮、市にお金が落ちる新たな地域づくり、特徴のある商品を作る(開発)、外部からの商店を誘致する、税金を増やすこと、税金を利用して増やすことを行政はマネジメントする
	分野:5. 都市基盤の整備 課題: 市水、排水全戸整備、上下水の整備が遅れている、完備率75%(水道)程度の整備、交通網が少な過ぎ、パーク&ライド郊外に駐車場を作りバス・自転車との連結、公共交通 コミュニティバスの無人化と15分ごとに走らせる、ヘリポート場を市営することで利益をだす、神宮周辺の開発が二極化の対象、観光地域の開発は限界、二極化開発へ切替えるべき、情報を出し続け共有する、市街地空き地利用、緑が少ない	定期的に水質管理(井戸水)、お金がかかっても全体計画をつくる、水道財源を確保(役所でもビジネス)・行政と民間の協業ビジネスの展開、パーク&ライドの設立、コミュニティバスの運営(無人バスの特区)、空き地を自由に使用できる制度を作る、空き地利用できるPR、来訪者を増やし収益性を上げることを考える
分野:6. 市民参画・行政の取組 課題: 協働の民間部門の生活の保障、独居老人が安心して生活できる様に、介護の相談窓口を設ける、民生委員の活動の活性化の必要、隣組の活性化、各窓口の設置(市行政主体で個別で)、すぐやる課な組織を作る、行政の窓口で「ありがとうございました。」がない、ゴミ収集方法が甘い、観光地以外の地区は汚い	情報機器の活用、お金のチェック体制の整備、民にもお金を出す(都市再生予算を使う)、分野に関係ない窓口をつくる(タイ回しをしない)、行政プランを民間の協業にお金を払う(交通費・食事代)、固定資産税の活用、行政体制の中に民間人を適宜配置する、行政サービスコンセプトを確立、清掃コスト削減の為にゴミ分割をもっと細かく、環境課で行政指導する	

ポイント・特徴: 地域の経済性の向上の一方で、香取だけでものを売る発想から脱皮といった外部地域との関わり方も視野に入れた検討を進めています。行政と民間の協業ビジネスなど、行政との連携も考慮した解決方法、取組が提案されています。

# 第2回 まちづくりワークショップ アンケート結果

## アンケート質問項目一覧

アンケートでは、まちづくりワークショップ参加の感想、今後の参加意向を把握しました。

1. 最初に該当する性別及び年代に○をつけてください。
2. 本日参加された感想をお聞かせください(該当項目に○をつけてください)。  
本日のまちづくりワークショップはお楽しみいただけましたか？  
本日のまちづくりワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか？  
本日のまちづくりワークショップでの話し合いの時間(長さ)は、いかがでしたか？  
今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか？
3. 本日のまちづくりワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

## 第2回 まちづくりワークショップ・アンケート結果の概要

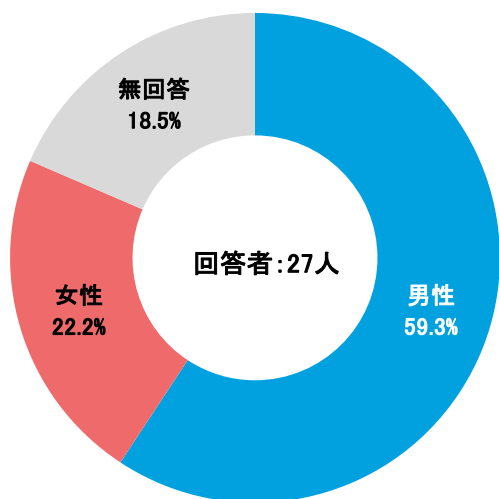
多くの参加者が、まちづくりワークショップで楽しみながら活発に意見を発言でき、今後も市民参画の機会があれば、また参加したいと考えています。

- ✓ まちづくりワークショップの参加者数は28名で、アンケートへの回答者は27名でした。
- ✓ 参加者でアンケートを回答した人のうち77.7%(21人)が、まちづくりワークショップを楽しめたと回答しています。
- ✓ 参加者でアンケートを回答した人のうち92.6%(25人)が、自分の意見を発言できたと回答しています。
- ✓ 参加者でアンケートを回答した人のうち40.7%(11人)が、話し合いの時間がちょうど良かったと回答しています。
- ✓ 参加者でアンケートを回答した人全員(100%, 全27人)が、市民参画の機会があればまた参加したいと回答しています。
- ✓ 自由記述では、今後の進め方についての意見が多く出されたほか、対話の重要性、香取市の今後について、前回のワークショップとの比較についての感想が述べられました。

## 参加者の状況

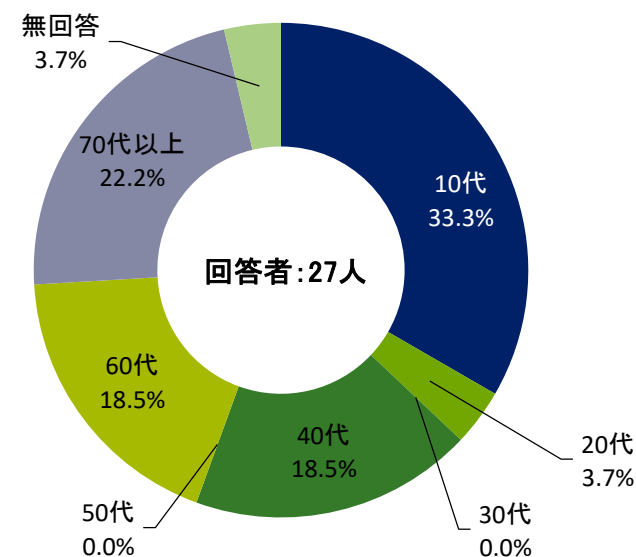
開催日時	平成29年7月23日(土) 9:30~12:00
アンケート回答者数	27名(参加者数:28名)

### 参加者の性別



性別	人数
男性	16人(-1)
女性	6人(-1)
無回答	5人
総計	27人(-2)

### 参加者の年代



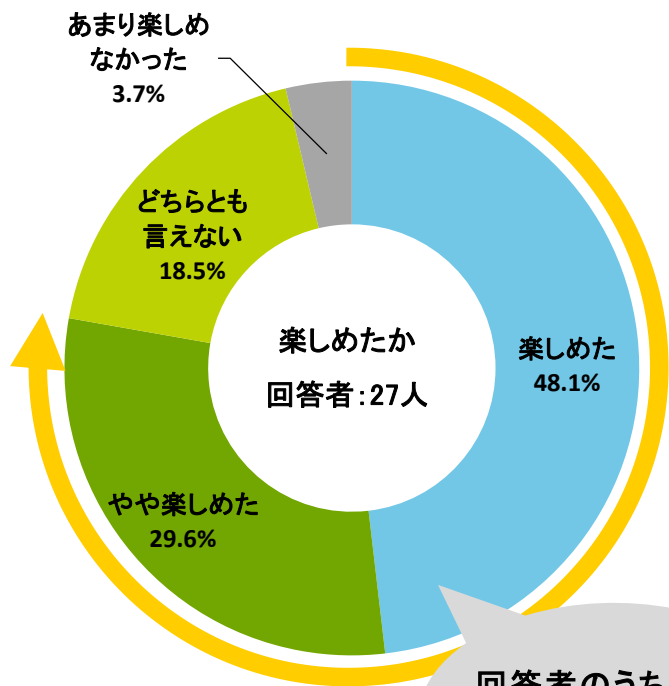
年代	人数	年代	人数
10代	9人(+0)	50代	0人(+0)
20代	1人(+0)	60代	5人(+0)
30代	0人(-2)	70代以上	6人(+0)
40代	5人(+0)	無回答	1人(+0)
		総計	27人(-2)

表の()内の数値は前回(第1回)からの数値の増減数です

## まちづくりワークショップの感想

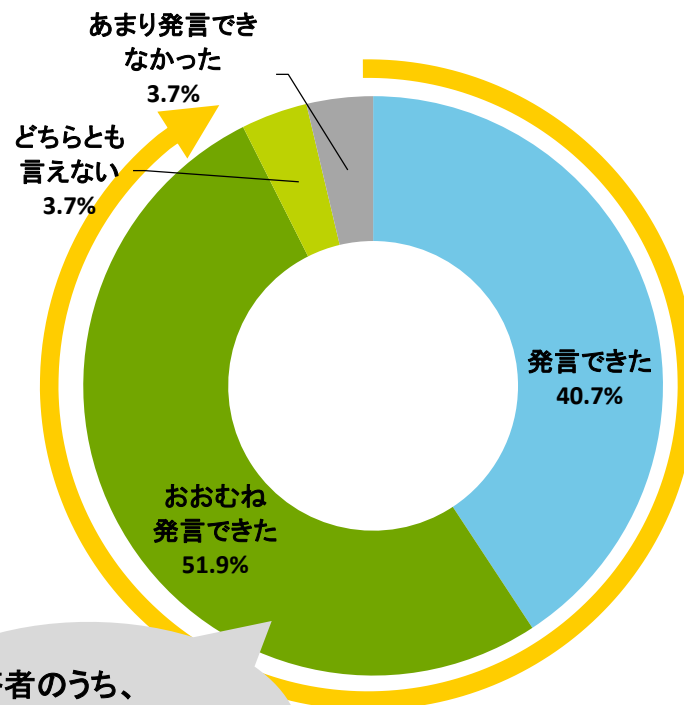
参加者でアンケートを回答した人のうち77.7%(21人)が、まちづくりワークショップを楽しめたと回答しています。また、92.6%(25人)が、自分の意見を発言できたと回答しています。

2-1\_本日のまちづくりワークショップは  
お楽しみいただけましたか？



回答者のうち、楽しめたと回答した割合は77.7%(-8.5)でした。

2-2\_本日のまちづくりワークショップでは、  
ご自分の意見を十分に発言できましたか？



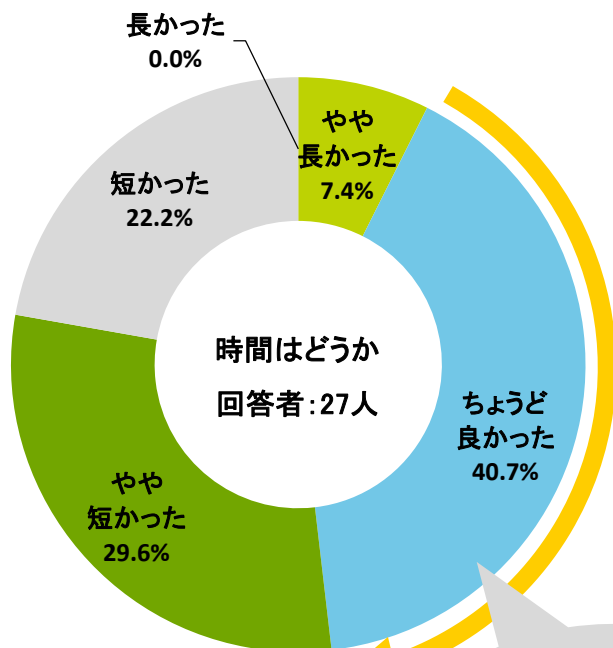
回答者のうち、発言できたと回答した割合は92.6%(+10.2)でした。



## まちづくりワークショップの感想

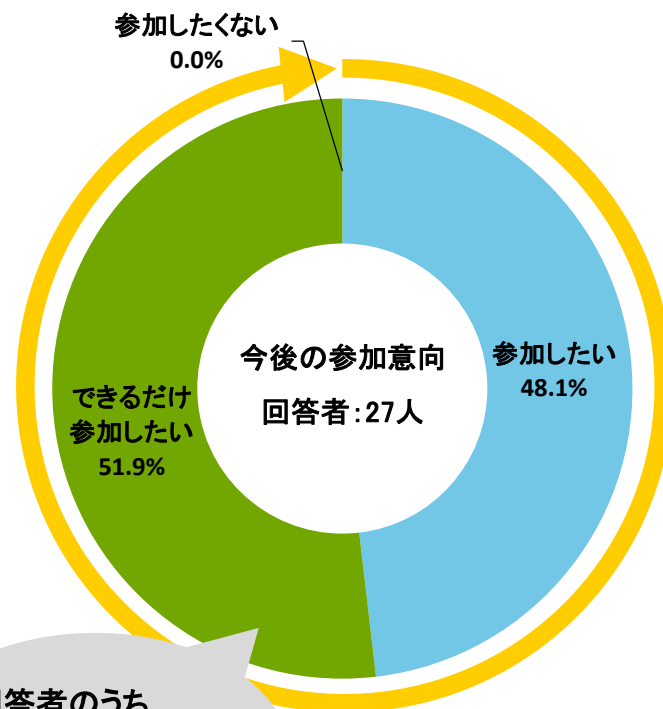
参加者でアンケートを回答した人のうち40.7%(11人)が、まちづくりワークショップでの話し合いの時間がちょうど良かったと回答しています。また、100%(27人)が、また参加したいと回答しています。

2-3\_本日のまちづくりワークショップでの話し合いの時間(長さ)は、いかがでしたか？



回答者のうち、ちょうど良かったと回答した割合は40.7%(-11.0)でした。

2-4\_今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか？



回答者のうち、また参加したいと回答した割合は100%(+3.5)でした。

吹き出しの()内の数値は前回(第1回)からの数値の増減数です。

## まちづくりワークショップ実施に対しての自由記述(主な意見)

今後の進め方についての意見が多く出されたほか、対話の重要性や前回のワークショップとの比較についての感想が述べられました。

3\_本日のまちづくりワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

カテゴリー	主な感想
今後の進め方について	いろいろな年代とより深く話し合いたい。発表をきくだけでも十分良いのですが、気づけない事もたくさんあると思います。前回よりもよりはっきりした課題に向かえてよかったです。
	時間が短く討論が足りなかった。
	様々な分野のキャリアを積まれている方のアイデアを集めることができると良いと思います。高校生や一般から、テーマ別にアイデア募集してはどうでしょうか。
	議論の十分な深掘が出来ない。まとをしぼり十分な、納得がいく議論が出来る場を作って欲しい。
対話の重要性について	今回、このような機会がなければ考えられなかったこと、気付かなかったことがたくさんあり、とても勉強になりました。また、機会があれば参加したいです。
	今回、このような機会がなければ考えられなかったこと、気付かなかったことがたくさんあり、とても勉強になりました。また、機会があれば参加したいです。グループ毎の人材がかたよりすぎたらいがあったと思う。もっとランダムに人材配置の方が意見の拡がりがあり、より活性化したと思う(反省)。
前回との比較について	みなさんの意見が様々で楽しかったです。前回よりも分野で話せたので様々な問題を発見でき、改めて香取市のことを考えさせられました。

	回答数	割合	記入なしを除いた割合
今後の進め方について	10 (+2)	37.0%	50.0%
対話の重要性について	8 (-2)	29.6%	40.0%
市の今後について	0 (-5)	0.0%	0.0%
前回との比較について	2 (-)	7.4%	10.0%
記入なし	7 (+1)	25.9%	—
総計	27 (-2)	100.0%	100.0%

表の( )内の数値は前回(第1回)からの数値の増減数です

アンケートの回答結果から、参加者がワークショップ内で十分に自らの意見を発言することができたと実感する一方で、グループで出た意見を整理、議論をより深めるための検討時間が足りなかったと感じています。次回ワークショップ開催時には、十分な検討時間を確保することに加え、グループでの意見のまとめ方、思考の整理法について補助を行い、より活発な議論の展開を目指します。

**参考：第2回まちづくりワークショップの様子**

## まちづくりワークショップ 各テーブルの様子



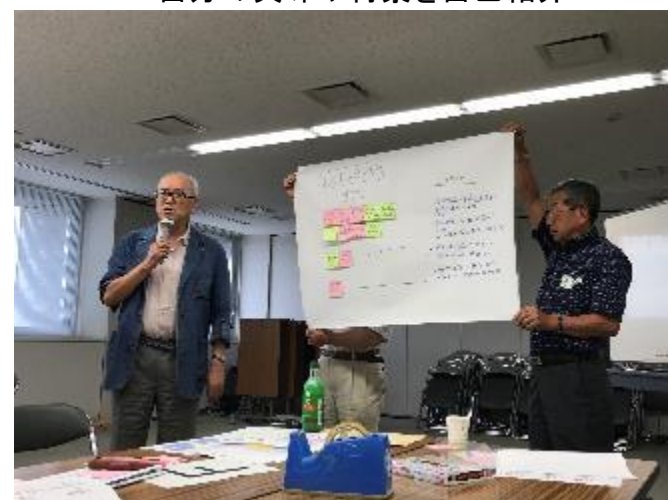
各テーブルで、検討分野を分担し議論を進める



初めて顔を合わせるメンバーに対して、  
自分の興味や背景を自己紹介

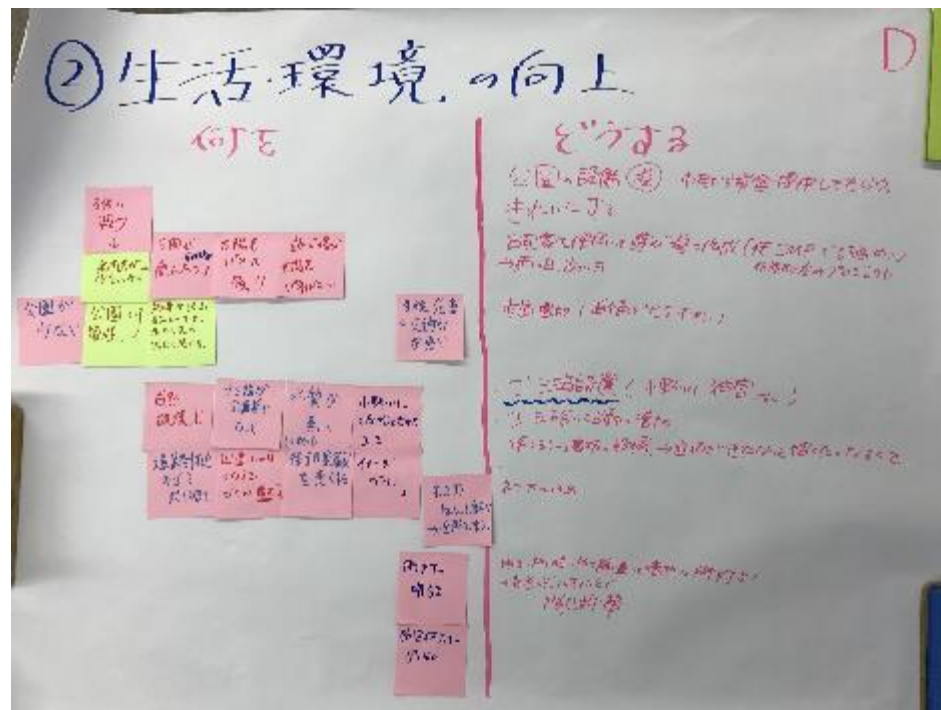
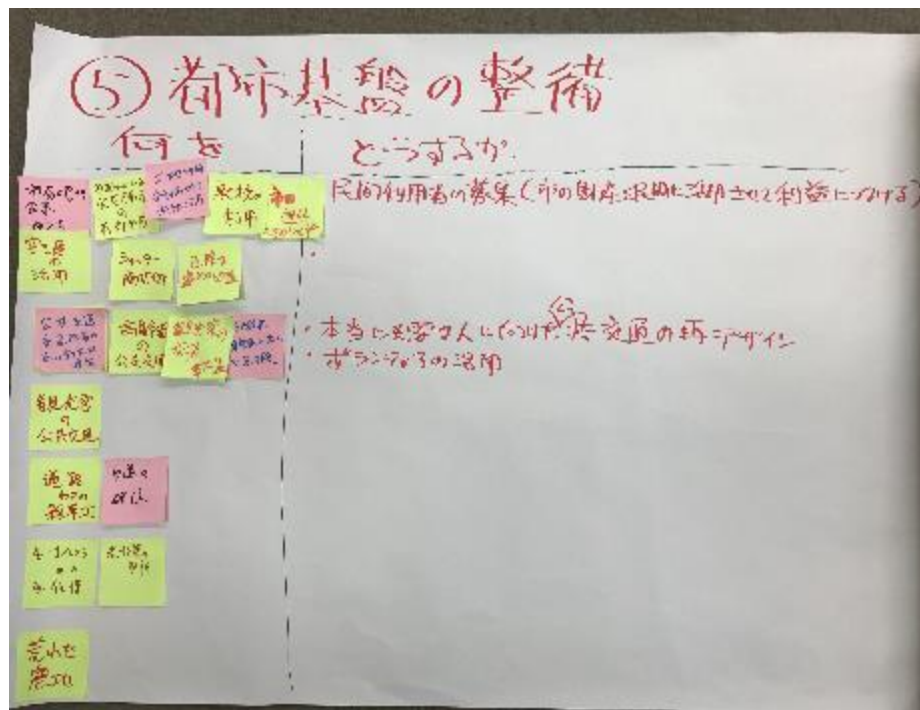


現行の施策体系を参考に分野ごとの課題を考え、  
課題の解決方法を検討



各テーブルでの議論を踏まえ、  
課題と解決方法を発表

# まちづくりワークショップ 成果物の一例



第1ラウンドで抽出した課題を模造紙の左側の「何を」の列に並べ、類似するもの、関連するものごとに整理し、整理した課題に対する解決方法を模造紙右側の「どうするか」の欄に記入しました。第2回まちづくりワークショップでは「何をどうするか(What, How)」の視点に絞って検討を進めました。第3回ワークショップでは、上記の視点に加え、「誰が、どこで、なぜ」等の視点を加えて検討を進めます。